

No.	展覧会名	開催形態	会期	開催日数	ジャンル	概要	備考(巡回先等)
1	深堀隆介展	巡回展 実行委員会	4月24日（土） ～6月13日 （日）	44	現代美術	深堀隆介（1973年愛知県生まれ、神奈川県在住）は透明樹脂にアクリル絵具で金魚を描くという斬新な手法で注目を集める若手の現代美術家。器の中に樹脂を流し込み、その表面に絵具で金魚を少しずつ部分的に描いていき、さらに上から樹脂を重ねる作業を繰り返すことで、立体感のある金魚に仕上げる。その彼の独創的な手法は、絵画作品と立体作品の境界に揺さぶりをかける革命的絵画と言える。国内はもとより世界的に高い評価を受ける深堀の、躍動感にあふれ、不思議な美しさを湛えた金魚を堪能できる展覧会。	長崎県美術館 2021年3月12日～4月18日 高知県立美術館 7月10日～8月29日 神戸ファッション美術館 9月11日～11月7日
2	足立美術館展（仮称）	巡回展 実行委員会	6月26日（土） ～8月1日 （日）	32	近代日本画	足立美術館は、島根県安来市出身の実業家・足立全康（1899～1990）が収集したコレクションをもとに、1970年に開館。日本画、陶芸、童画、木彫、漆芸など総数2000点のコレクションからなり、とりわけ近代日本画壇を代表する横山大観の作品は高い質と量を誇っている。その豊富なコレクションの中から、横山大観をはじめ、竹内栖鳳、菱田春草、上村松園、橋本関雪、榊原紫峰ら錚々たる日本画家たちの名品を一堂に展覧する。本展は宮城県美術館と当館での共同巡回展となるが、同館コレクションの東北での大規模な公開は初となる。作品と併せて、同館が世界に誇る日本庭園の魅力についても紹介するものである。	宮城県美術館 4月～5月
3	フランスモダンポスター展	巡回展	8月14日（土） ～10月3日 （日）	44	西洋近代 絵画	19世紀末から20世紀初頭にかけてのフランスは、豊かな良き時代を意味する「ベル・エポック」と呼ばれている。産業の近代化によって大都市が発展、多くの商品や娯楽に囲まれたモダン・ライフの到来とともに、新たな芸術も生み出された。この時期制作されたポスターは、その優れたデザイン性によって、近代都市パリの華やかな世界を今日に伝えている。本展覧会は、京都工芸繊維大学美術工芸資料館が所蔵するポスター・コレクションより、ベル・エポック期におけるフランス・ポスターの代表作約150点を展示。近代デザインの始まりと絶頂期の作品を4部構成で紹介する。	2020年12月3日～2021年1月31日 パラミタ ミュージアム
4	本城直季展	巡回展 実行委員会	10月16日 （土）～11月 28日（日）	39	写真、現代	大判カメラのアオリ技法を利用して、人物や建造物をミニチュアのように撮影する写真家・本城直季の美術館における初個展。本展は、これまで本城が手がけてきた8シリーズの作品と、各開催都市で、その街を撮り下ろした「まちのポートレート」、さらには、東日本大震災後の東北の街々の痕跡を収めた、初公開の「東北」シリーズを含む計10シリーズで構成する。また、街やそこに暮らす人の営みを撮り続ける本城という作家そのものに焦点をあて、映像や制作資料なども織り交ぜて紹介する。	2020年11月7日～2021年1月24日 千葉市原 湖畔美術館 2021年2月～4月 （空き） 2021年5月～7月 高知県立美術館 2021年7月～9月 宮崎県立美術館 2021年12月～2022年2月 （空き） 2022年3月～2021年5月 東京都写真美術館
5	開館20周年記念 菅木志雄展〈もの〉の存在を掘り下げる（仮称）	単独、自主企画	12月18日 （土）～2月20 日（日）	51	現代美術、岩手、自主	盛岡市出身の現代美術家菅木志雄（1944年生まれ、静岡県在住）の、1960年代から現在までの各時代の仕事を、インスタレーション、レリーフ、ドローイング、写真で見る展覧会。菅は「もの派」とよばれる1960-70年代の美術動向を牽引してきた作家であり、その後も一貫した制作姿勢により独自の創作活動を続ける、当館の収蔵作家の一人。石や木、金属などの日常的な素材を、なるべく加工せず、空間に置いたり組み合わせたりすることで、素材同士や置かれた場所との関係を問う菅の作品は、国内外で高い評価を受けている。特に近年は「もの派」の国際的な関心の高まりの中、ヴェネツィア・ビエンナーレ等海外展への出品や欧米の有名美術館への作品収蔵で注目を集めている。	
6	アートフェスタいわて2021	自主企画、県芸術祭実行委員会との共催	3月5日（土） ～3月21日 （月・祝）	15	岩手	本展は19回目の展示。2021年秋に開催される第74回岩手芸術祭美術展の受賞（芸術祭賞、優秀賞、奨励賞）作品に加え、日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン、現代美術、水墨画の10部門それぞれから推薦された美術家たちの作品100点。令和2年に受賞した令和元年度岩手県美術選奨受賞作家5人の作品も併せて展示。	